

# カイキョーReBORNプロジェクトの 始動

令和5年11月 デザイン会議

## □ プロジェクト名称

# カイキョーReBORNプロジェクト

下関を中心に関門エリアが「日本を代表するウォーターフロントシティ」になるため、海峡が「ReBoRN：大きく生まれ変わる」プロジェクトであることを分かりやすく、かつ力強く表現

## □ ロゴデザイン

モチーフは、関門海峡の景観や事業を象徴する「船舶の往来」。これから生まれていくさまざまな場やコンテンツがコンテナのように船に積み上げられ、「前に進んでいく」プロジェクトのイメージをデザイン

## □ プロジェクト情報発信

プロジェクト情報を発信する公式HPを立ち上げ（9月）。SNSでの発信もあわせ、タイムリーに情報を展開



SNSでの発信



市報でも4ページにわたり紹介いただきました



# マスタープラン デザイン会議

- 地元事業者（唐戸市場・カモンワーク・海響館）、専門家、行政各部署が一堂に会して議論するデザイン会議を立ち上げ。7月から毎月の議論を継続



# 地域ワークショップ

□ 地域内外でプロジェクトに関わるメンバーを増やしていくため、7月からトークイベントを毎月開催。

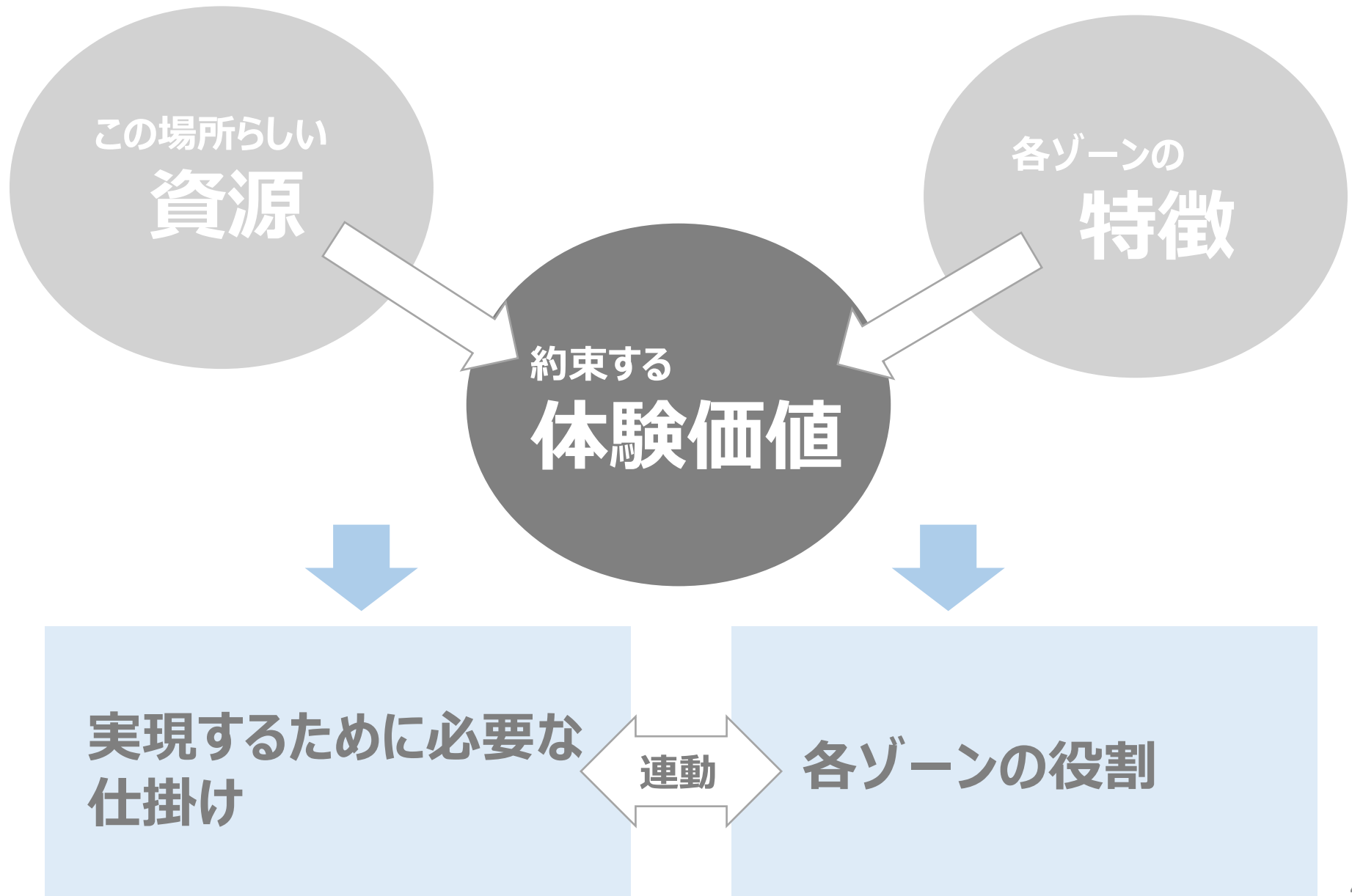


下関の未来とまちづくりについて考えるワークショップ「TTT」

第1回 7月25日	オリエンテーション	14名
第2回 9月24日	「道が変わると、まちが変わる」 榎本 拓真 氏	26名
第3回 10月24日	「あかりが変わると、まちが変わる」 長町 志穂 氏	32名



第3回（10月24日）  
長町志穂「あかりが変わると、まちが変わる」



# 海峡エリア全体として大事にする「この場所らしい資源」と「約束する体験価値」



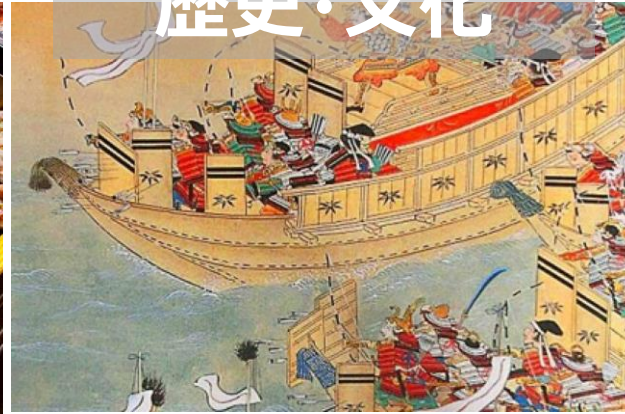
## 海峡



## 市場（食）



## 歴史・文化



- 海と対岸、橋が同時に感じられる
- 大型船舶の通航、小型船舶での往来が目に見える
- 解放感のあるオープンな空間

- 漁業の営みを体感できる
- 食資源だけでなく本物の食文化の発信源となる
- プロ以外の一般客も買える、下関の台所

- 「ただのカイキョーじゃない」個性、文化、体験などユニークなコンテンツが充実
- 国際性、歴史、ここにしかないストーリーが存在

資源をベースに海峡エリアで創出し、訪れる人に「約束する体験価値」に昇華させる

居場所

食体験

遊び・学び

カイキョー

## 居場所

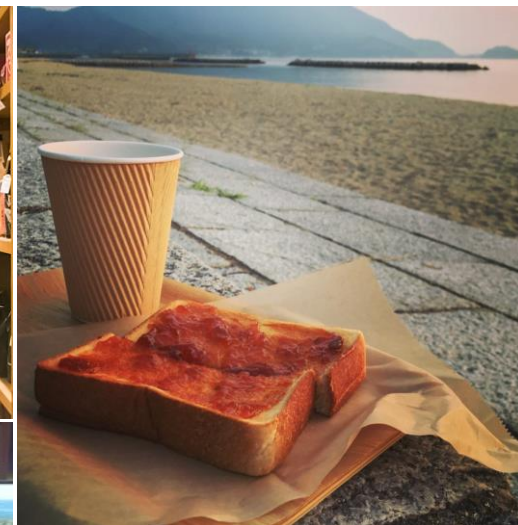
- ・「海峡そのもの」が唯一無二の空間
- ・海峡の風景がゆったりと眺められる「滞留」空間
- ・港町らしい情緒やワクワク感を彩る「夜景」
- ・水辺が誘発する「解放感」



カイキョー

## 食体験

- ・下関らしく、本物の「食文化」
- ・海峡の特別な空間で楽しむ「食体験」





カイキョー

遊び  
学び

- ・多彩なコンテンツ（アート、音楽、水上利用）が生む「交流」
- ・この場所ならではの海洋生物、船舶、自然環境、歴史文化等の「学び」



【写真：カイキョーソトアビ】



【写真：うみかぜ公園：横須賀市】



- (1) 圧倒的な水際線の利活用
- (2) 水際線の滞留空間
- (3) 海峡を最大限に美しく見せる象徴的なランドマーク・夜景
- (4) 海峡ならではの食の体験、下関の食文化体験
- (5) ローカルの魅力との交流プログラムの継続提供
- (6) ナイトタイムエコノミーの活性化
- (7) 海峡エリアの回遊性・まちとの連続性
- (8) 知的好奇心を刺激する仕掛け・体験を価値にしていく